

さくらやまⅡ 3月号

「第59回 学位記授与式」

栄養健康学科21名 保育学科43名の皆さん
短期大学士の学位取得おめでとうございます!!

令和2年4月3日(金)に入学式を終え、皆さんは下関短期大学生活をスタートさせましたが、新型コロナ感染拡大のため、やむなく臨時休業となり、遠隔授業や毎日5コマに加え土曜日にも対面授業を受講しました。

しかし、皆さんの授業に対する真摯な姿勢は前期の授業出席率が96%に達したことからもよく分ります。学外実習においても日程変更やPCR検査等と困難な対応をせざるを得なかったと思います。

また、多くの学校行事が中止になり制約された中でも、皆さんは、学友会を中心に一致団結して工夫を凝らした素晴らしいスポーツ大会を開催しました。今でも皆さんの脳裏に印象深く刻まれていると思います。正に、皆さんは「チームShimotan」の牽引車でした。

今後、皆さんは栄養士や保育者として、各職場で、超少子高齢社会を支える有意な人材として活躍・貢献して頂きたいと思います。その皆さんに餞の言葉として、精神科医、随筆家で「モタさん」の愛称で親しまれた齋藤茂太(サイトウ シゲタ)先生の言葉を贈りたいと思います。

「大きくても30センチほどのヤマメと、その二倍もあるサクラマスのお話です。」川での生存競争に敗れたヤマメの一部が、餌を求めて海へと下り、餌が豊富な海を回遊するうちに大型化したのがサクラマスなんだそうです。その時は負けたと思えても、自分で自分に見切りをつけなければ、人生に「負け」なんてものは存在しません。人と競うのではなく、できることから少しずつ努力を重ね、昨日の自分よりちょっとだけでも成長しようと思えばいい。そうすれば、いつの間にか、サクラマスのようにぐーんと大きくなっているはずですよ。皆さんにも、本学の教育理念である「温雅にして礼節を尚ぶ」を胸にしっかりと頑張ってもらいたいと思います。そして、何か疲れたり、課題や悩みが生じた時には、遠慮せず皆さんの原点ともいえる「下短」に顔を出してください。待っています。



給食実務実習

入学式

模擬保育

スポーツ大会開会式

スポーツ大会玉入

